

公共調達監視委員会活動状況報告書

(部局名) 長野労働局

- 1 開催日 平成31年2月26日(火)
- 2 委員の氏名及び役職等
- | | | |
|-----|-------|-----------|
| 委員長 | 長瀬 一治 | 信州大学大学院教授 |
| 委員 | 内村 修 | 弁護士 |
| 委員 | 酒井 富雄 | 公認会計士 |
- 3 審査対象期間 平成30年7月1日 ~ 平成30年12月31日契約締結分

4 審査契約件数

(1) 公共工事

① 競争入札によるもの

・審査対象件数	<u>2件</u>
・審議件数	<u>2件</u>
うち、低入札価格調査の対象となったもの	<u>0件</u>

② 随意契約によるもの

・審査対象件数	<u>0件</u>
・審議件数	<u>0件</u>

(2) 物品・役務等

① 競争入札によるもの

・審査対象件数	<u>8件</u>
・審議件数	<u>8件</u>
うち、契約金額が500万円以上の案件	<u>1件</u>
うち、参加者が一者しかいないもの	<u>3件</u>
うち、契約の相手方が独立行政法人となったもの	<u>0件</u>
うち、委託契約金額に占める再委託金額の割合が2分の1を超えるもの	<u>0件</u>

② 随意契約によるもの

・審査対象件数	<u>0件</u>
・審議件数	<u>0件</u>
うち、新規案件で競争性のない随意契約で調達しているもの	<u>0件</u>
うち、企画競争又は公募をしたが、参加者(応募者)が一者しかいないもの	<u>0件</u>
うち、契約の相手方が独立行政法人となったもの	<u>0件</u>
うち、委託契約金額に占める再委託金額の割合が2分の1を超えるもの	<u>0件</u>

5 審査案件の抽出方法

(工事、物品・役務等)
・件数が10件であるため、全数を審査対象とした。

6 審査結果

不適切等と判断した件数 0件

結果内容及び措置状況(具体的な内容を記載するとともに、審査を行った際書類も併せて提出すること。)

所見なし

別紙様式1

公共調達審査会審議対象一覧及び審議結果（公共工事）

〔競争入札によるもの〕 審査対象期間 平成30年7月1日 ～ 平成30年12月31日契約締結分

部局名 長野労働局

公共工事の名称、場所、期間及び種別	契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	契約を締結した日	契約の相手方の商号又は名称及び住所	法人番号	一般競争入札・指名競争等の別（総合評価の実施）	予定価格(円)	契約金額(円)	落札率(%)	備考	公共調達審査会審議結果状況(所見)
1 長野労働総合庁舎事務室照明器具改修工事	支出負担行為担当官 長野労働局総務部長 堀江章 長野市中御所1-22-1	平成30年12月21日	池田建設株式会社 長野県長野市広田77	1100001000211	一般競争入札	8,419,680	8,100,000	96.2%	「1者」	所見なし
2 長野労働基準局箱清水宿舎101号室内装修繕工事	支出負担行為担当官 長野労働局総務部長 堀江章 長野市中御所1-22-1	平成30年12月25日	株式会社インテック左 右田 長野県長野市南長池 351	6100001000272	一般競争入札	2,613,600	842,400	32.2%	「2者」	所見なし

※ 備考欄には、以下の①から⑤に該当する場合には、当該符号を付すこと。

- ① 低入札価格調査の対象となったものにあつては、「低入札」。
- ② 随意契約見直し計画において一般競争入札等に移行するとされていたが移行していないものにあつては、「未措置」。
- ③ 競争入札、企画競争又は公募をしたが、応札者が1者しかないものにあつては、「1者」。2者の場合は「2者」と付すこと。）
- ④ 新規案件で競争性のない随意契約であるものにあつては、「新規」。
- ⑤ 委託契約金額に占める再委託金額の割合が2分の1を超えるものにあつては、「再委託」。

別紙様式2

公共調達審査会審議対象一覧及び審議結果（公共工事）

〔随意契約によるもの〕 審査対象期間 平成30年7月1日 ～ 平成30年12月31日 契約締結分

部局名 長野労働局

公共工事の名称、場所、期間及び種別	契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	契約を締結した日	契約の相手方の商号又は名称及び住所	法人番号	随意契約によることとした会計法令の根拠条文及び理由（企画競争又は公募）	予定価格（円）	契約金額（円）	落札率（%）	再就職の役員の数（人）	備考	公共調達審査会審議結果状況（所見）
該当なし											

※ 備考欄には、以下の①から⑤に該当する場合には、当該符号を付すこと。

- ① 低入札価格調査の対象となったものにあつては、「低入札」。
- ② 随意契約見直し計画において一般競争入札等に移行するとされていたが移行していないものにあつては、「未措置」。
- ③ 競争入札、企画競争又は公募をしたが、応札者が1者しかいないものにあつては、「1者」。2者の場合は「2者」と付すこと。
- ④ 新規案件で競争性のない随意契約であるものにあつては、「新規」。
- ⑤ 委託契約金額に占める再委託金額の割合が2分の1を超えるものにあつては、「再委託」。

別紙様式3

公共調達審査会審議対象一覧及び審議結果（物品・役務等）

〔競争入札によるもの〕 審査対象期間 平成30年7月1日 ～ 平成30年12月31日契約締結分

部局名 長野労働局

物品・役務等の名称及び数量	契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	契約を締結した日	契約の相手方の商号又は名称及び住所	法人番号	一般競争入札・指名競争等の別（総合評価の実施）	予定価格（円）	契約金額（円）	落札率（%）	備考	公共調達審査会審議結果状況（所見）
3 平成30年度「36協定未届事業場に対する相談指導事業」委託契約	支出負担行為担当官 長野労働局総務部長 堀江章 長野市中御所1-22-1	平成30年7月2日	全国社会保険労務士会連 合会 東京都中央区日本橋本石 町3-2-12社会保険労務士 会館	8010005003972	一般競争入札 （総合評価落札 方式）	8,847,291	8,802,000	99.5%	「1者」	所見なし
4 デジタル印刷機の新規及び交換購入契約	支出負担行為担当官 長野労働局総務部長 堀江章 長野市中御所1-22-1	平成30年8月7日	株式会社柏とビジネスセン ター 長野県長野市大字長野大 門町532	1100001000632	一般競争入札	3,717,360	3,517,560	94.6%	「2者」	所見なし
5 「離職されたみなさまへ」等印刷物作成契約	支出負担行為担当官 長野労働局総務部長 堀江章 長野市中御所1-22-1	平成30年8月20日	株式会社アステージ 新潟県新潟市東区津島屋 7-30	8110001021976	一般競争入札	3,108,142	1,799,280	57.9%	「9者」	所見なし
6 年度後半における集中的な就職面接会事業	支出負担行為担当官 長野労働局総務部長 堀江章 長野市中御所1-22-1	平成30年10月1日	株式会社カシヨキャリア開 発センター 長野県長野市西和田1-27- 9	5100001004530	一般競争入札	3,200,000	1,998,000	62.4%	「2者」	所見なし
7 非常用備蓄品の購入契約	支出負担行為担当官 長野労働局総務部長 堀江章 長野市中御所1-22-1	平成30年10月12日	株式会社サイボウ 埼玉県さいたま市見沼区卸 町2-6-15	3030001003582	一般競争入札	1,131,554	682,668	60.3%	「7者」	所見なし
8 佐久公共職業安定所で使用する軽乗用自動車の交換契約	支出負担行為担当官 長野労働局総務部長 堀江章 長野市中御所1-22-1	平成30年10月18日	株式会社甲信マツダ 長野県長野市中御所1-27- 22	5100001004695	一般競争入札	1,029,275	871,716	84.7%	「3者」	所見なし

※ 備考欄には、以下の①から⑤に該当する場合には、当該符号を付すこと。

- ① 低入札価格調査の対象となったものにあつては、「低入札」。
- ② 随意契約見直し計画において一般競争入札等に移行するとされていたが移行していないものにあつては、「未措置」。
- ③ 競争入札、企画競争又は公募をしたが、応札者が1者しかないものにあつては、「1者」。2者の場合は「2者」と付すこと。
- ④ 新規案件で競争性のない随意契約であるものにあつては、「新規」。
- ⑤ 委託契約金額に占める再委託金額の割合が2分の1を超えるものにあつては、「再委託」。

別紙様式3

公共調達審査会審議対象一覧及び審議結果（物品・役務等）

〔競争入札によるもの〕 審査対象期間 平成30年7月1日 ～ 平成30年12月31日 契約締結分

部局名 長野労働局

物品・役務等の名称及び数量	契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	契約を締結した日	契約の相手方の商号又は名称及び住所	法人番号	一般競争入札・指名競争等の別（総合評価の実施）	予定価格(円)	契約金額(円)	落札率(%)	備考	公共調達審査会審議結果状況(所見)
9 平成30年度各官署で冬期間使用する灯油の購入について(中信地域)	支出負担行為担当官 長野労働局総務部長 堀江章 長野市中御所1-22-1	平成30年11月1日	中央石油株式会社 長野県松本市巾上2-1	7100001013546	一般競争入札	1,804,032	1,495,843	82.9%	「1者」	所見なし
10 「雇用保険事務手続きの手引き」等印刷物作成契約	支出負担行為担当官 長野労働局総務部長 堀江章 長野市中御所1-22-1	平成30年11月13日	株式会社アステージ 新潟県新潟市東区津島屋7-30	8110001021976	一般競争入札	2,084,834	1,242,497	59.6%	「4者」	所見なし

※ 備考欄には、以下の①から⑤に該当する場合には、当該符号を付すこと。

- ① 低入札価格調査の対象となったものにあつては、「低入札」。
- ② 随意契約見直し計画において一般競争入札等に移行するとされていたが移行していないものにあつては、「未措置」。
- ③ 競争入札、企画競争又は公募をしたが、応札者が1者しかいないものにあつては、「1者」。2者の場合は「2者」と付すこと。）
- ④ 新規案件で競争性のない随意契約であるものにあつては、「新規」。
- ⑤ 委託契約金額に占める再委託金額の割合が2分の1を超えるものにあつては、「再委託」。

別紙様式4

公共調達審査会審議対象一覧及び審議結果（物品・役務等）

〔随意契約によるもの〕 審査対象期間 平成30年7月1日 ～ 平成30年12月31日契約締結分

部局名 長野労働局

物品・役務等の名称及び数量	契約担当官等の氏名並びにその所属する部局の名称及び所在地	契約を締結した日	契約の相手方の商号又は名称及び住所	法人番号	随意契約によることとした会計法令の根拠条文及び理由(企画競争又は公募)	予定価格(円)	契約金額(円)	落札率(%)	再就職の役員の数(人)	備考	公共調達審査会審議結果状況(所見)
該当なし											

※ 備考欄には、以下の①から⑤に該当する場合には、当該符号を付すこと。

- ① 低入札価格調査の対象となったものにあつては、「低入札」。
- ② 随意契約見直し計画において一般競争入札等に移行するとされていたが移行していないものにあつては、「未措置」。
- ③ 競争入札、企画競争又は公募をしたが、応札者が1者しかないものにあつては、「1者」。2者の場合は「2者」と付すこと。
- ④ 新規案件で競争性のない随意契約であるものにあつては、「新規」。
- ⑤ 委託契約金額に占める再委託金額の割合が2分の1を超えるものにあつては、「再委託」。

平成30年度第2回長野労働局公共調達監視委員会が、平成31年2月26日（火）に開催されましたので、審議概要についてお知らせします。

平成30年度第2回長野労働局公共調達監視委員会（審議概要）

〔審議日程等〕

開催日及び場所	平成31年2月26日（火）	長野労働局議室
委員（敬称略）	委員長 長瀬 一治	大学教授
	委員 内村 修	弁護士
	委員 酒井 富雄	公認会計士
審議対象期間	平成30年6月1日から平成30年12月31日契約締結分	
抽出案件	10件（公共工事2件、物品役務等8件）	
審議案件	10件（公共工事2件、物品役務等8件）	
委員からの意見・質問に対する回答等	意見・質問	回 答
	下記のとおり	下記のとおり

〔審議概要〕

○ 案件番号1

「長野労働局総合庁舎事務室照明器具改修工事」について

（委員）公共事業で一者応札ということはほとんどなかったかと記憶しているが。

（事務局）今回の工事は照明、弱電関係工事、天井の改築のための建築工事、エアコンダクトの移設のための空調工事と三種類の工事の施工が必要であったこと、今回入札に参加できるのが、一般競争入札参加資格C、Dの業者であったこと、職員の頭上で作業するため、休日しか施工できず工期が思いのほかタイトであったことなどから業者がなかなかなく一者応札となった。

（委員）落札率96%ということは、競争が働いていない結果ともいえる。今後も応札業者が多くなる工夫をしてほしい。

○ 案件番号2

「長野労働基準局箱清水宿舍101号室内装修繕工事」について

（委員）落札率が32.2%となっているが予定価格は合理的だったのか。

（事務局）施工単価という一般的に販売されているものをベースに積算をしており、妥当なラインと思っていたが、ここまで安くというのは想定していなかった。

1か月くらいの工期で、人件費がかなりかかるかのではという見込みから概ね二十人くらいの人数を想定していたが、実際は落札業者の社員ほぼ二人が約1週間で仕上げたため、人件費が非常に安く抑えられたと考えている。なお、施工に手抜きはなく満足いく仕上がりであった。

（委員）入札が2社で、そこに3倍くらいの開きがある。予定価格の積算の段階で、そもそも職人がそんなに多くないという算定ができるのであれば、積算価格を

もう少し下げることができたのではないかと。今回のように職人を自前で用意できる業者とそうでない業者を同じ入札で競わせるというのも、そもそも競争になり得るのかという感じはする。

(事務局) 今回この積算にあたって、Aランクで、当局の工事に参加できない業者に最初積算していただいた。

当局には、技術系の職員がいないため、ゼロからの積算というのは現実的に不可能であることから、通常、当局の入札に参加できない業者にベースになる積算をしていただき、それを当局で細かく積算して、予定価格を立てている。

(委員) 今回入札に参加した業者は下見積もりに参加した業者ではないのか。

(事務局) 別の業者である。

(委員) 下見積もりを依頼すると、業界内でその情報が把握される可能性が全くないとは言えないと思う。競争を働かせるためには多数の業者が応札できるように工夫してほしい。

○ 案件番号 3

「平成 30 年度「36 協定未届事業場に対する相談指導事業」委託契約」について

(委員) 今年度初めての事業ということであるが、落札業者は全国ベースのものなのか。

実際にこの事業の担当者というのは長野県の組織が作業するという理解でよいのか。他の都道府県でも同じようなことが行われているのか。

(事務局) ご質問のとおり。全国的にも、この落札業者が受託して、作業するのはそれぞれの地元の方でというかたちのところが多いと聞いている。

(委員) これは大変な仕事だと思う。実際のところ、落札業者以外にこれができるような事業所というものはあるのか。

(事務局) 全国の全てが当該落札業者ではない。

(委員) やはり、全国で一律にやっている事業で、今回が初年度ということであれば、どれだけの効果が出るのかということは検証していただく必要があると思う。

監督署のルートでの指導というものもあるし、委託事業での指導というものもあるということであれば、やはり検証の結果、どちらで効果があるのかなど、不要なものは外していくとか、見直しということもやはり視野に入れて細かくチェックしていく必要があるのではないかと思う。

○ 案件番号 4

「デジタル印刷機の新規及び交換購入契約」について

(委員) この契約には、メンテナンスやサプライ商品も契約に含まれているのか。

(事務局) 含まれていない。保守点検を含めた一括の契約ではない。

(委員) 印刷機の定価が 108 万円だったが、見積価格は単価 20 万円となっている。

これはそもそもこういったものなのか。これ 1 台が単価 20 万のということなのか。

(事務局) 複数台を購入するとなると、1 台あたりの値引きの率が上がるようである。

(委員) 1台ずつ個々ではなく、取りまとめて一括に複数台を購入できるようにというかたちにすると、最初の予定価格の算定というのは結構難しいのではないか。

○ 案件番号5及び案件番号10

「離職されたみなさまへ」等印刷物作成契約」について

「雇用保険事務手続きの手引き」等印刷物作成契約」について

(事務局) 昨年と同じ業者が落札している。昨年は業者がこれに関する版を持っているので、安く入札できるという説明を申し上げた。

(委員) 版を持っていると太刀打ちできない。印刷物であるから全国共通の部分も多くあろうかと思う。

(委員) なかなか競争にはならない。

落札額は予定価格の二分の一である。競争原理が働かない、

(委員) 注文する側からすると、安く同じものが入れば、そういう限りにおいては全国的な競争が働いていると見えるが、そこは業者の創意工夫がどう生かされるかである。価格は確かに難しいことではある。

(委員) 最初に版を起こすときに落札できた業者がそれ以降有利に入札に参加できるということか。ほかの業者は版が変わったらそのときに次のチャンスを狙うということになるのか

(委員) これは一般論であるが、印刷業者だけに関わらず同一地域の同一業者の人たちの間というのは、なかなか競争が働きにくいところがあって、県内業者だけじゃないというのは合理的かと思う。

(事務局) 新潟は紙の仕入れが、海が近いこともあって長野県に比べると安い。

また、最低賃金に長野と新潟で差があり、長野県は高い。そういうところも要因の一つとして考えられる。

○ 案件番号6

「年度後半における集中的な就職面接会事業」について

(委員) 昨年度の入札額は。

(事務局) 321万8,400円で前年度は契約している。

(委員) 今年度は予定価格が320万円で、約6割近くの額で応札されたということなのか。もう1者は270万円程度。規模や内容についても昨年と変わらないのか。

(事務局) 規模については、昨年度80社程度の会場を想定していたが、今回は40社程度と小さい会場を想定している。予定価格の積算をする段階でも、昨年度に比べ使用できる金額が少なくなっており、会場も少し縮小し、予定価格をその水準まで下げるといった調整をしている。

(委員) 会場費関連は71万円が18万円に落ちている。自社ビルを使ったという事か。

(事務局) 会場は市の施設であり、なるべく費用のかからないところを選定したと聞いている。

(委員) 予定価格を作るときに、そういう設定はできなかったものか。例えば、人件

費も 80 万円くらいの差がある。予定価格には保険料などが含まれているが、落札業者ではそれを含めなくて人件費を計上しているのか。

(委員) 人件費が予定価格の積算より安くなっているということを考えれば、応札者が保険料等を含め一定の労働条件について考えているか気になるところである。

入札は、競争が働いているということがあるが、根拠と人件費との間に乖離が大きすぎるので、その結果、働いている人の雇用条件に悪影響を及ぼしていることがないか確認していただけないかと思う。また、そこが確保できるような入札の仕組みを考慮してほしい。

○ 案件番号 7

「非常用備蓄品の購入契約」について

(事務局) 平成 25 年に購入した備蓄品が、賞味期限を迎えたため調達した。

(委員) 入札の最高額と最低額で 2 倍の差がある。インターネットのホームページ等の情報を予定単価の積算根拠にしていると思うが、飲料水と乾パンでこんなに違いが出てくるものなのか。

(事務局) インターネットで市場価格を参考にして予定価格を決めたが、入札をしてみてもかなり差が出た意外な結果であった。

(委員) 一番高い業者がどういう根拠で単価を出したかはわからないのか。

(事務局) その業者の単価自体が高かったということくらいしか分からない。

(委員) 細かな仕様というものはないのか。

(事務局) 調達品目、数量、保存期間 5 年以上ということだけである。

(委員) 食品メーカー等の指定はないのか。

(事務局) 指定はない。

(委員) 乾パンだと食べられないと言う人もいる。乾パン以外も検討の余地はあるのではないか。

○ 案件番号 8

「佐久公共職業安定所で使用する軽乗用車の交換契約」について

(委員) これは前にも申し上げたが、全国的に軽自動車となっているのはどうか。

長野県の場合雪も多く、山間部へは 4WD でなければ大変かと思う。

全国一律ではなく、山間地で積雪の多いところではその点配慮できないものなのか。

(事務局) 全国的に予算が厳しく、軽自動車が主で来年度はもう交換さえできない状況になってしまっている。

(委員) 前から申し上げているが、やはり安全で確実にしかも丈夫なものでないと仕事をする者は大変である。

(事務局) 重量税分の予算が決まっているため、当局で車体分の予算を上乗せして普通車の調達を考えても、重量税分の予算がないため契約ができない。

(委員) 軽井沢の事故のようなことが起き得るので、このような意見があったというこ

とを上部に伝えてほしい。

○ 案件番号 9

「平成 30 年度各官署で冬期間使用する灯油の購入（中信地域）」について

（委員） 1 者応札であるが他の業者は辞退したのか。

（事務局） 中信地域という括りで一般競争入札をしたが、木曾福島と大町という南北に離れている地域の両方をカバーできないということで 2 者に辞退されてしまった。

（委員） 分けて入札をやることはできないのか。現在の地域割りは応札する人を排除する仕組みになるのでは。

（事務局） 北信、中信、南信で、地域を分けている。

（委員） 人の多いところは普通にグループ分けすればいいと思うが。

（事務局） 金額や数量が少なくなってしまうと、単価の割引があまり期待できないということで、スケールメリットの方を生すためこの地域割りとしている。

地域割りは毎年見直しを行ってはいるが、平成 30 年度についてはその結果 1 者応札だった。

（委員長） ガソリンは 1 者が全県をカバーしているが。

（事務局） 配達なので、あまり遠方になると配達に時間がかかり、単価が高くなるのではないかと考えている。

（委員） 業界ではトップ同士で貸し借りをするため距離は影響してこないのではないのか。

（事務局） 来年度全県を一本で行うか、分けて行うかなど検討してみたいと思う。

（委員） 石油製品の小売市場は、9 月の下旬は価格が高い時期になるということはないのか。下がる時期や上がる時期が。

（事務局） ある。

（委員） 数量が変わってくれば、暖冬時は最終的な金額は低くなるのか。

（事務局） 使用すると思われる予定の数量に単価をかけている金額で、絶対にその数量を調達するものではないという契約をしている。最終的にいくらかかったかということは別になる。

（委員） 実際に配達する人はこの業者ではなく、近くのスタンドから持ってきているのかと思う。

（委員） 木曾と大町は離れているから、なかなか業者が参入しにくいのでは。木曾だけで単独で入札が可能かということも検討してほしい。

○ 全体を通して

（委員） 新しい事業に関して、検証と確認ということも加味し、次年度の参考にしてほしい。

（委員長） 自動車の購入、交換について、安全性に是非とも配慮し、適切な措置をしていただくように要望があったと伝えてほしい。